

令和5年度 第1回食育推進会議議事録

(1) 日時 令和5年7月27日(木) 19:00～20:00

(2) 場所 佐世保市役所 4階 全員協議会室

(3) 出席者

【委員】12名

(会長) 松尾 嘉代子委員、田中 雅子委員、江頭 毅委員、(副会長) 大河内 友美委員
春田 優洋委員、熊本 直樹委員、松尾 修委員、川崎 奈緒美委員、篠原 幸子委員
須藤 栄介委員、山崎 翔委員、鴨川 多鶴子委員

【事務局】9名

辻保健福祉部長、前川健康づくり課長、中島健康づくり課長補佐
辻村係長、志方主査、辻主査、湯田主査、村上主任、久保

【食育推進検討委員】12名

農政課(南課長補佐・代理)、卸売市場管理事務所(前田課長補佐・代理)、
水産課(市丸課長補佐・代理)、医療保険課(切間課長)、長寿社会課(亀川次長)、
生活衛生課(平島課長)、食肉衛生検査所(橋本所長)、保育幼稚園課(花野次長)、
子ども保健課(林課長)、廃棄物減量推進課(草野課長)、学校保健課(藤原課長)、
社会教育課(船本課長補佐・代理)

(4) 開催目的

佐世保市食育推進計画の推進に関し、第4次佐世保市食育推進計画に基づく食育推進実施プランの進捗管理について、調査審議する。

(5) 会議の目標

第4次佐世保市食育推進計画に基づき実施した令和4年度の進捗状況や取り組み内容について報告し、令和5年度に実施する事業について、調査審議する。

(6) 議事1. 第4次佐世保市食育推進計画の概要について

議事2. 第4次佐世保市食育推進計画に掲げる食育推進実施プランの令和4年度進捗状況について(報告・情報共有)

議事3. 第4次佐世保市食育推進計画に掲げる食育推進実施プランの令和5年度実施計画について(情報共有)

【事務局】

開会のあいさつ

情報公開について

事務局代表挨拶(辻保健福祉部長)

資料の確認

委員紹介

会議成立の確認

正副会長の選任

【松尾会長】

それではただいま会長に選任いただきました、長崎国際大学の松尾と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

先ほど辻部長からもありましたが、この推進計画が昨年度から第4次の計画が動き出しております。どうしてもまだコロナが長崎県でも増えているということで、5類に移行はしたものの、なかなか油断のならない状況ではありますが、食育というものはやはり毎日の積み重ねで、人の体を作っていくものですので、しっかりとこの計画を推進していきながら、市民の健康づくりに少しでも寄与できればと思っておりますので、どうぞ委員の皆様のご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、会を進行させていただきます。お配りされている会次第では、本日、議題が大きく3つ示されているようです。

議題1として、第4次佐世保市食育推進計画の概要について、事務局よりご説明をお願いします。

【事務局：健康づくり課 辻】

第4次佐世保市食育推進計画冊子および概要版を用いて説明。

【松尾会長】

ありがとうございました。ただいま、事務局から説明がありましたが、委員の皆様から何かご質問等ございませんでしょうか。

江頭委員お願ひいたします。

【江頭委員】

最初の方の第1章の1-3の計画の期間のところ、「この計画の期間は令和4年度から令和8年度で、国の計画よりも1年遅れて進めております」とおっしゃったと思うが、その意義を教えてください。

【事務局：健康づくり課 辻】

計画書の1ページ4行目をご覧ください。最初の佐世保市食育推進計画が平成18年12月策定されており、平成23年の12月に第2次計画、平成29年の1月に第3次計画を策定している状況で、国・県の計画が平成18年4月からというところで推進されております。その国・県の計画の内容を踏まえて、市の計画を策定するとなると、計画がない空白の期間が数ヶ月発生するということになるため、本市第3次計画の推進期間を6年間とし、国の第3次計画より1年長く設定しておりました。そのため、本市第4次計画の開始が国の第4次計画より1年間遅れて開始する状況になりました。

【江頭委員】

国や県の計画を取り入れつつ、空白期間を作らないためのということですか。

【事務局：健康づくり課 辻】

そうです。

【松尾会長】

質問がなければ次の議題に移ります。

議題2ですが、第4次佐世保市食育推進計画に掲げる食育推進実施プランの令和4年度の進捗状況について、事務局よりご説明をお願いします。

【事務局：健康づくり課 久保】

資料1、資料2、参考資料、当日配布資料「令和5年度佐世保市食育推進会議資料に対するご質問等一覧表」を用いて説明。

【松尾会長】

ありがとうございました。ただいま、事務局の方から説明がありました議題2について、委員の皆様からご質問等ございますでしょうか。江頭委員をお願いします。

【江頭委員】

私の質問で早速資料を用意していただきありがとうございます。こういうことなんですね。わかりました。

内容的に令和5年度はまだ決まってないということですが、同じような感じで踏まえていかれるのかなと思います。

今年度の例で言うと、写真がわかりやすいと思うんですけど、弁当の上にポップが掲示してあります。この上のポップが主食・主菜・副菜のバランスのよい食事というメッセージが出てますが、このポップの前に並んでいる弁当がそういう弁当になっているのでしょうか。

【事務局：健康づくり課 久保】

はい。ありがとうございます。写真の状況で、量的には少ないかもしれませんが、野菜もミニトマトやブロッコリーなど入っており、主食・主菜・副菜のそろった食事にはなっているかとは思っています。

【江頭委員】

その点はお店側と打ち合わせとかをして、並べてもらっているのでしょうか。

【事務局：健康づくり課 久保】

そうですね。掲示を实际にさせていただくのはお店の方にさせていただきますが、配布をする際に、そういった趣旨で、お弁当のそばに掲示をしてくださいということで、口頭でお伝えをしているんですけど、はっきりと弁当の内容にまでは打合せできていない状況です。

【江頭委員】

もし、こういうバランスのとれた食事をしないといけないなと思って、お弁当を買うときは、そのポップの前に並んでる弁当を買えば、バランスのいい食事になるんだろうなというふうに、消費者としては思いたいと思うんですよ。ポップが目の中にあるわけですから。

例えば、私の歯科医院でも歯ブラシとか歯磨き粉とか売ってますけど、食後には歯みがきをと言

って売ってます。つまりポップがあるということは、ポップの内容を踏まえたものが目の前に並んでいると普通常識的に捉えられると思うんですよ。そうであれば、もう少しお店の方と打ち合わせをして、せっかくスマート・ライフ・プロジェクトと名前までついてるのだから、「スマート・ライフ・プロジェクト推奨」と、そこまで言えるようなラベルがつけられたらもっといいですよ、弁当ひとつひとつに。

そうすると消費者の方は、ポップを見て買えば、こういったバランスのいい食事がとれるんだという意味で、ひょっとしたら売上げが伸びるかもしれない。そういったお店側も win、食べた市民も win、プロジェクトを推進している皆さん方も win になる。3者が win になるような、そういった取り組みがあっただけいいんじゃないかなと思います。委員の中には栄養士の方もいらっしゃるのので、いろんな情報を収集して、より効果的になるような方策を研究いただければなと思います。以上です。

【松尾委員】

ありがとうございました。今、江頭委員がご提案いただきました内容についてはやはり、こちらのロゴにも書いてあるように、バランスのよい食事という表現が入っておりますので、ただ主食・主菜・副菜が入っている食事ではないので、やはりそのバランスというものがどういったものかというのは、今後、お店の方にも的確にお伝えをしていった方がいいのではないかなと思います。やはり誤解を招きかねない。何でもペタペタ貼って付けられるとですね。佐世保市がそれを推奨している、食育推進会議が推奨しているというふうな形になると、誤解が生じると大変かと思うので、その普及の方法をご検討いただきたいと思います。

申し訳ございませんが、私から、松尾修委員がご提案質問されている内容で、資料1の事業2つ目のところですね、高校に対しての実績として、この資料1の一覧には6校と書いてあって、事前質問の回答には実績として資料配布で5校となっておりますが、残り1校これは久田学園を加えて、6校ということなんでしょうか。

【事務局：健康づくり課 久保】

失礼しました。松尾先生がおっしゃるとおりで、久田学園を含めて6校となります。その実績を事業一覧の実績には記載させていただいております。

【松尾会長】

ありがとうございます。それであるとですね、例年はコロナ禍でやむを得ず資料配布ということかと思えます。本来のこの事業内容を確認してみますと、文化祭への出展に加え、出前講座の活用で周知を促すとしてありますので、毎年その資料配布だけを行っているものと、今回やむなし資料配布になったけれども基本的には出展を想定していたというものとは少し性質が違うのかと思えますので、ここの計上の仕方は逆に、それであれば全ての高校に資料配布をすべきではないかなと思います。出展だけなのでやむなし、この事業数が毎年4校と上がっていると思うのですが、本当に資料配布だけで実績とするならば本来すべての高校に、平等にやるべきではないかなというふうに思いましたので、その点を少しご検討いただければと思いますが、委員の皆様方、いかがでしょうか。私が勝手に発言させていただいてますが、松尾修委員からのご提案でしたが、いかがでしょうか。

【松尾修委員】

その通りかと思います。

【松尾会長】

ありがとうございます。

では実績の計上の仕方も踏まえて、事務局の方で一度ご検討いただいでよろしいでしょうか。

【事務局：健康づくり課 久保】

コロナの影響で、ブース出展ができない場合に資料配布としたのですが、それをまた市内の全部の高校に配布するというのはですね、予算的にも厳しいところがありますので、今後この実績値に掲載をする学校の数については、ブース出展をした高校の数を計上するように検討したいと思いません。

【松尾会長】

そのように実績の計上のすみ分けを明確にしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

他の委員の皆様からご意見ございませんでしょうか。江頭委員お願いします。

【江頭委員】

多分。またかと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、資料の1の20「8020認定証発行交付」。去年のこの会議でも申し上げたのですが、8020達成者はすでに5割を超えているんですね。佐世保市民の中でも、80歳以上の高齢者の半分は8020を達成している状況です。それだけ多くいらっしゃる方を認定するという意味が活動としてあるのかということが前回申し上げた意見です。

それで、この一番右の目標達成80%未満の事業についての分析がされてあるのですが、これは抽出の仕方が、成人歯科健診で上がってきたデータから抽出するとなつて、結果、これが5人ということになっているわけですね。5人を認定してもというふうに思つてですね。分析にも書いてあるのですが、80歳で20本以上歯を残している方というのは、絶対に、定期的に歯科医を受診してるんですね。そうでなければ、実際に80歳で20本歯が残っているということはほぼないと思うんですね。80歳で20本歯を残している方は、全体では5割を超えてるんですけど、残っている歯の平均はどれぐらいかというところ8016、13（80歳で16本、13本）ぐらいですよ、平均で。ですので、成人歯科健診からデータを上げるというのは、その抽出の仕方としては、やっぱりその成人歯科健診を受ける高齢者ってほとんどいないと思うので、あまり意味がないかなと思います。

だからこの辺は、事業そのもののあり方もそうですし、抽出の方法をやはり再検討する必要があるんじゃないかなと思います。

以前の、健康優良高齢者表彰というものを、佐世保市と合同にやっていたんですが、その時は各歯科医院から推薦という形をとってたんですけども、それがいいかどうかは別としてですね、ちょっと今のやり方は、変えた方がいいんじゃないかなと思います。

今その、食べるためにももちろん歯がたくさんあったほうがいいわけなんですけども、たくさん歯を残していることはもう当たり前になってきたんです。けれども実は、質の問題も変わってきてる

んですね。いくらたくさん残っていても、歯周病で歯がグラグラだったり、虫歯だらけでボロボロだったり、数だけ20本あっても食べられないんですよ。それはもう山崎委員も現場でよくご存知だと思うんですよ。口腔ケアがめっちゃくちゃ大変だっていう。むしろ歯なんて総入れ歯の方がケアしやすかったりするんですけど、今後はそのただ数だけの評価するんじゃなくて、質を含めた口の健康維持で、いつまでも年齢が進んでもきちんとした食生活が送れるということが、健康寿命を延ばすことになるのかなと思います。

ちょっと事務局の中で、収集の仕方など検討していただければと思います。以上です。

【松尾会長】

江頭委員からの、今のご提案について事務局いかがでしょうか。

【事務局：健康づくり課 志方】

健康づくり課歯科衛生士の志方です。ただいまのご提案ですけれども、おっしゃる通り、佐世保市で把握できるのは成人歯科健診だけでしか、把握ができないものなので、これだけの人数になってるんですけれども。今言われたように、定期的に歯科健診に行かれている高齢者の方が多いので、わざわざ成人歯科健診を受けないと言われる方が結構いらっしゃったんですね。ですので、この事業のやり方というの、再検討する必要はあるかなということで、後期高齢者に向けてお口いきいき歯科健診というものもありますので、そちらの方で取っていくかという案も出ています。ただ、24人の目標に対して5人というのもどうかなというところもありますので、事業そのものを歯科医師会と一緒に検討していけたらと思っています。

【松尾委員】

江頭委員よろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。

それでは、議題3に移らせていただきます。

第4次佐世保推進計画に掲げる食育推進実施プラン令和5年度の実施計画について事務局より、ご説明をお願いします。

【事務局：健康づくり課 久保】

資料3、当日配布資料を用いて説明。

【松尾会長】

ありがとうございます。ただいま令和5年度の実施計画について説明がございました。この事務局からの説明についてご質問等ございませんでしょうか。

【春田委員】

この第4次の概要版にもあるように、学童期に、望ましい食習慣を身につけさせることも大事なかなと思います。今の計画の中の事業番号31番ですが、学校の方で児童生徒の体験活動実施とありますが、どんな体験活動を予定しておられるのか、具体的にお伺いできたらと思います。

【松尾委員】

ありがとうございます。事務局の方からお願いいたします。

【食育推進検討委員：学校保健課 藤原課長】

学校保健課長の藤原と申します。

学校の給食の実施に関する事業のところ、先ほどご質問いただきましたが、特別活動等、栄養教諭を通じてですね、学校の中でそういった活動を実施するようなことを計画いたしております。以上です。

【松尾会長】

ただ今の回答でよろしいでしょうか。ありがとうございます。

他にご質問はいかがでしょうか。

この計画を立てる段階がやはり、かなりのコロナ禍で事業を円滑に進めていくというのはかなり難しい状況でしたけれども、今年度からはこれまで同様に事業を強化していくことになるかと思えますので、そういった観点からも、事務局の各担当課の方々にご協力いただきながらの食育推進になるかと思えます。

また、委員の皆様も、今後、動向見ながらお気づきの点がありましたら、どうぞ活発にご意見をいただければと思いますので、また今後とも、食育の推進についてよろしくお願いします。

それでは本日準備されておりました議題は以上ですが、その他質問等ありますでしょうか。

ありがとうございます。時間もちょうど迫って参りましたので、この場で本日議論いただきました内容を簡単に集約させていただきます。

令和4年度の事業実績につきましては、事前質問いただきました内容に事務局よりご回答をいただいております。一部、資料の修正等もあるかと思えますので、またご対応のほどよろしくお願いいたします。

また、令和5年度の事業に関しても、江頭委員の方からご提案ありました、8020認定証発行交付の実績見直しであるとか、事業の具体的な回数増加など修正なされておりますので、今年度の食育推進まだ残り9ヶ月ありますので、活発な食育が進められることを願っております。それでは本日の会議はすべて終了いたしました。委員の皆様のご協力、滞りなく進行できました。それでは事務局に進行をお返しします。

【事務局：健康づくり課 前川課長】

松尾会長様ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、本日はお忙しい中長時間にわたりご協議ありがとうございました。貴重なご意見をいただきましたので、今後の事業活動に、生かしていきたいと思っております。

本日も報告させていただきました食育推進計画に基づいた、食育の推進に向けては、今後とも、委員の皆様にご協力をお願いしたいと思っております。

以上をもちまして、令和5年度第1回佐世保市食育推進会議を閉会いたします。ありがとうございました。